The World of Saée Tahara Vol.2

田原さえの世界 Vol.2

～語り始める音にII～

主催：仙台バッハゼミナール（代表：田原さえ）
協力：ミュージックプロデュースMHKS

仙台公演

2017年 11月8日（水）
19:00開演（18:30開場）
仙台市太白区文化センター・楽楽楽ホール

東京公演

2017年 11月22日（水）
19:00開演（18:30開場）
カワイ表参道 コンサートサロン「パウゼ」

入場料

一般：3,500円（当日4,000円）・大学生以下：2,000円（当日2,500円）・小学生以下：1,000円

曲　目

◇ S.プロコフィエフ：《10のピアノ小品》Op.12 より「伝説」「前奏曲」
◇ J.S.バッハ：パルティータ 第2番　BWV826
◇ A.スクリャービン：練習曲 Op.42-5、Op.8-12
◇ R.シューマン：クライスレリアーナ Op.16

後　援	昭和音楽大学、武蔵野音楽大学同窓会宮城県支部、(公財)宮城県文化振興財団、(公財)仙台市市民文化事業団、河北新報社、仙台リビング新聞社、東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、東日本放送、エフエム仙台、fmいずみ797
チケット取扱	イープラス　http://eplus.jp/　プレイガイド（仙台公演のみ）　ヤマハミュージックリテイリング仙台店　カワイ仙台ショップ
お問合せ・チケット取扱	アーティストコミュニティジャパン（ACJ）/ Tel:0120-649-041/ e-mail:acj@ttj.co.jp 仙台公演　MHKS / Tel:022-794-9244 / Fax:022-794-9284 / e-mail:info@mhks.jp

The World of Saée Tahara Vol.2

仙台市出身。武蔵野音楽大学・同大学院を経て、90年ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学修了、オーストリア政府芸術修士を取得。同大学ではピアノ室内楽及びドイツ歌曲の解釈と伴奏法を専攻し、88年にはザルツブルグにおいてG.スゼー氏のリサイタルでの伴奏者に抜擢される。

帰国後はオーケストラとの協演をはじめ、ソロ、室内楽、伴奏と幅広い演奏活動を行っている。92年以来、東京と仙台とで行うリサイタルは14回を重ねた。また、ザルツブルグでのI.ハッセ(フルート)とのデュオ・リサイタルや、ベルリン弦楽四重奏団、P.L.グラーフとの共演など国際的にも活躍中。2008年6月にはプラハ放送交響楽団との協演も行った。また、公開レッスンなどでの通訳も数多くこなしている。

78年、第22回全東北ピアノコンクール第1位及び文部大臣賞受賞。平成14年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。平成15年度には仙台市市民文化事業団主催による「Classic Live For You」のプロデュースも手掛けた。第2〜6仙台国際音楽コンクールではチャレンジャーズライヴのコーディネーターを務める。

また、仙台バッハゼミナールの主宰やミュージックプロデュースMHKSを立ち上げるなど、仙台を中心に様々な音楽活動を展開しており、若手演奏家によるコンサート「明日へ！」シリーズや母と子のためのコンサートなど、その活動範囲は研究と演奏、企画、ナビゲーションなど多岐にわたる。fmいずみの番組『be A-live』では、毎月1回ゲストとして「田原さえの音楽ざんまい！」のコーナーに出演中。

2010年12月に初のソロCD「それは、懐かしい時の始まり」を、2013年6月にはフルートのP.L.グラーフ氏とのライヴCD「コンチェルティーノ」をリリース。現在、昭和音楽大学講師。NHK文化センター仙台教室講師。仙台バッハゼミナール代表。宮城県芸術協会会員。

仙台バッハゼミナール

J.S.バッハの作品の解釈と演奏研究によりその音楽への理解を深めることを目的として、2000年4月に発足。月に1度のペースで集まって、会員全員が持ち回りで分析・演奏を行っている。06年10月〜09年1月に《平均律クラヴィーア曲集》第I巻全曲についての研究発表を行った。現在は《平均律クラヴィーア曲集》第II巻の研究発表会を継続中。

CD情報

田原さえ 1st Album

それは、懐かしい時の始まり。

田原さえ(ピアノ)

レーベル: SPACE SHOWER MUSIC
ASIN: B004429KXI
EAN:4580137620433
¥2,571(税込)

コンチェルティーノ Live

2013年2月21日
ヤマハホールにて
ライブ・レコーディング
ペーター=ルーカス グラーフ(フルート)
田原さえ(ピアノ)

レーベル: マイスター・ミュージック
ASIN: B00CQ8IBNC
EAN:4944099215531
¥3,041(税込)